



～TECH with HEARTで挑む、 フォーカスシステムズの 環境再生プロジェクト～ 活動レポート

◆GrowLeaf会員企業様の素敵な活動をご紹介します

このレポートでは、持続可能な未来を築くGrowLeaf会員企業の熱意ある取り組みを、ご紹介します。

第1回目は、ITのチカラと情熱で、オフィスに「奇跡の海」を再現した株式会社フォーカスシステムズ様をピックアップ！驚きの活動内容をぜひご覧ください。



Topic01

トップニュース：品川区「令和7年度環境保全活動顕彰」 企業大賞の受賞！

フォーカスシステムズは、本社を置く東京都品川区が主催する「令和7年度環境保全活動顕彰」において、最高賞である「企業大賞」を受賞しました。おめでとうございます！



ここがスゴイ！

- 「IT×サンゴ」という、他にはないユニークなアイデア！
- 地元の子供たちが目を輝かせて参加するイベントの楽しさ。
- オフィスの中でサンゴが産卵するという、プロも驚く成果！

この表彰制度は、地球温暖化防止、水環境保全、緑化、リサイクルなどに関する、優れた環境保全活動を顕彰するものです。選考委員会による厳正な審査の結果、同社の活動は「独自性」「地域貢献性」の観点から極めて高い評価を獲得しました。IT企業としての知見を環境再生に転用し、地域を巻き込んだ教育活動を地道に続けてきた姿勢に、自治体からも厚い信頼を寄せられています。

[詳細はこちら](#)

会社名：株式会社フォーカスシステムズ [HPはこちら](#)

所在地：東京都品川区五反田

事業内容：システム開発、ITインフラ構築、セキュリティ、IoTソリューション等

コーポレートスローガン：テクノロジーに、ハートを込めて。(TECH with HEART)

環境への姿勢：良き企業市民として企業活動と地球環境との調和を目指し、豊かな社会と環境の実現に貢献します。地球温暖化等の大気環境から、水・土壌環境等の多岐にわたる環境をより良くするために、我々も社会の一員として環境保全に取り組めます。

Topic02 主な活動内容：「サンゴとつなぐ未来のわ！」



① オフィスでのサンゴ育成と産卵成功

- **ハitek水槽**：IoTセンサーで、海の温度や光を完璧にコントロール。
- **奇跡の瞬間**：2025年、**オフィス環境では国内初**となるウスエダミドリイシ（サンゴの一種）の複数コロニー同時産卵に成功！（株式会社イノカ調べ）
- **夢のサイクル**：ここで育ったサンゴをいつか本物の海へ。そんなロマンあふれる挑戦を続けています。



IoT水槽管理システム「MONIQUA」による環境の「可視化」

環境移送ベンチャーの「株式会社イノカ」と共同開発したIoT水槽管理システム「MONIQUA（モニカ）」は、まさに同社の技術力の結晶です。

- **精密な環境制御**：IoTセンサーを用いて「光の強さ」「水流」「水質」「温度」をリアルタイムで監視・制御します。
- **技術の汎用性**：閉鎖環境における生態系維持を「可視化」するこの技術は、サンゴだけでなく、将来的にスマート養殖（ITを活用した水産資源の効率的生産）などへの応用も期待されています。

ネイチャー・ポジティブを象徴する「産卵」の成功

2025年、本プロジェクトは「オフィス環境でのウスエダミドリイシ（サンゴの一種）の複数コロニー同時産卵」に、国内で初めて成功しました。（株式会社イノカ調べ）専門家の視点から見て、この「産卵」には非常に重要な意味があります。

一般的な「移植（無性生殖）」はクローンを増やす手法ですが、今回の「産卵（有性生殖）」は異なる個体同士が交わるため、「遺伝的多様性」が保たれます。これは気候変動などの環境変化に強い、真に強靱な生態系を再生するための鍵となります。今後はこの人工環境で育ったサンゴを実際の海へ戻す、ネイチャー・ポジティブ（自然再興）の実現を視野に入れています。

※**IoT (Internet of Things)**：モノをインターネットにつなぎ、情報をやり取りすることで遠隔監視や自動制御を行う技術。

② 次世代教育プログラム「しながわサンゴ礁ラボ」



同社は、技術を単なるツールで終わらせず、次世代を担う子供たちの「心」に届ける「環境エデュテインメント（娯楽と教育の融合）」を提唱しています。

2023年度より環境教育プログラム「しながわサンゴ礁ラボ」を開催しており、2025年度には、サンゴ産卵成功を記念した「スペシャルサンゴ礁ラボ」を開催し、講話や体験型学習等を通じて、子どもたちが海洋環境や生物多様性を体感的に学ぶ機会を提供しました。

- **成果と反応：** モニターに映る微細な生命の鼓動に、子供たちは目を輝かせ、スタッフに次々と質問を投げかけていました。アンケートの結果、満足度は10点満点中「9.5点」という驚異的な数値を記録。参加した子供たちからは「海を大切にしたい！」と感動の声が続出しています。
- **教育の意義：** 幼少期に最先端技術と本物の自然に触れる機会を提供することで、未来の環境リーダーを育む確かな土壌となっています。

[詳細はこちら](#)

③ その他の取り組み：学生たちと挑戦する環境保全活動



次世代を担う学生たちと共にITを駆使した環境保全活動を行っています。次世代ならではの柔軟な視点と、同社が培ってきた技術・知見を掛け合わせ、自然と社会が共生する持続可能な未来の実現を目指しています。

海ゴミ調査隊

株式会社リバネスの企画・運営協力の下、大島商船高等専門学校と共に、山口県周防大島にて小中学生を対象に海洋ごみ問題について学ぶプログラム「海ゴミ調査隊」を行いました。

本プログラムは、同社が高専所属の若手研究者の研究を応援する「リバネス高専研究費フォーカスシステムズ賞」において、大島商船高等専門学校 商船学科 山口 伸弥 助教の「ソーラーボート型マイクロプラスチック回収装置（海のお掃除ロボット）の開発」を採択したことをきっかけに、研究助成のみならず人材育成の支援も行いたいという思いから企画されました。

イベントでは、ソーラーボート型マイクロプラスチック回収装置で実際に海ゴミを回収したり、子供たちが自ら「技術を用いたゴミ回収アイデア」を考える等、海洋保全に向けたテクノロジーの可能性を学ぶ機会が提供されました。

[詳細はこちら：ITで海洋ごみ問題解決に挑戦する「海ゴミ調査隊」（外部サイト）](#)

生物多様性保全（TASUKI-櫓- Project）

株式会社リバネス、株式会社フィッシュパスと共に、次世代と連携し生物多様性評価に挑戦するプロジェクト「TASUKI-櫓- Project」を実施しました。

世界的にも環境保全が求められる中で、次世代と企業が連合体となって、東京湾につながる河川・びわ湖をフィールドに、環境DNA技術を用いた水域の生物多様性評価に挑戦し、研究結果は、地元の内水面漁業共同組合や国内外の同世代の中高生に報告されました。

また、2026年5月9日より同プロジェクトの第二期が始動しており、活動フィールドを陸域にも拡大し、引続き同プロジェクトを通じて自然環境と人間社会のつながりの理解を深めながら、自然の豊かさに気づき、行動することのできる人材育成を目指しています。

[詳細はこちら：TASUKI-櫓- Project（外部サイト）](#)

コーポレートスローガン「テクノロジーに、ハートを込めて。」が示す未来

1977年の創業からまもなく50周年を迎えるフォーカスシステムズ。独立系IT企業として官民両セクターで培ってきた確かな実績の根底には、「テクノロジーに、ハートを込めて。(TECH with HEART)」というスローガンが息づいています。

IoT水槽管理システムによるオフィス環境における国内初のサンゴ産卵—これは単なる技術の誇示ではありません。人と人を技術でつなぎ、情熱と誠意を持って地球の未来に寄り添う、同社の「ハート」そのものです。技術の力で自然を再生し、次世代に豊かな海を繋いでいく。フォーカスシステムズの挑戦は、GrowLeaf会員企業が目指すべきサステナビリティの理想を、情熱と論理の両面から示してくれています。

Front Runner Message

ご担当者：事業創造室

『IT企業がなぜサンゴ?』と驚かれますが、私たちの挑戦は、研究者やベンチャー企業の皆様と培った知見を活かし、ITの力で環境課題に本気で立ち向かうプロセスそのものです。

日本初のオフィス産卵成功という実績を礎に、さらなる自然再生や社会課題の解決に役立てたいと考えています。業種や規模は違えど、「大切な地球を未来へ繋ぎたい」という想いは共通です。

最先端のテクノロジーと当社の長年の実績により培われた技術を掛け合わせることで、今後も持続可能な未来への大きな輪を広げていくことを目指します！

【大募集】あなたの会社の「ちょっといいこと」教えてください！



GrowLeafでは、会員企業のみなさまが日々取り組んでいる環境活動や、地域を想うちょっとした工夫を、本レポートでご紹介したいと考えています。

「わざわざ紹介するほどのことじゃないし…」なんて遠慮は、必要ありません！

「ゴミの分別をこれまで以上に徹底している」

「地元の清掃活動に、有志の社員で参加した」

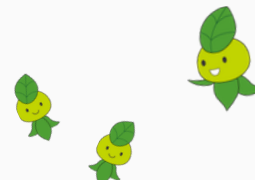
「お客様へのご案内を少しずつデジタルに変えている」などなど。

身近な小さな活動の継続こそが大切です、ぜひともみなさまの取り組みを自慢してください！

「うちの会社も、実はこんなことしてるよ」「こんなことを始めたよ！」というステキなエピソードがあれば、ぜひGrowLeaf事務局まで教えてください♪

みなさまの活動が、GrowLeafの輪をさらに広げる大切な種になります。

みなさまの貴重な取り組みを、本レポートで社内外にPRしませんか？ご連絡を楽しみにお待ちしております！



お申込み・お問い合わせはGrowLeaf事務局までお気軽にどうぞ♪



お問い合わせ



株式会社ブロードリーフ

Grow Leaf(グローリーフ)事務局

〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F

E-Mail : gr-growleaf@broadleaf.co.jp

<https://www.broadleaf.co.jp/sustainability/growleaf/>